



県民だより

第47号

●1992年3月19日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320宇都宮市埜田1丁目1番20号 ☎0286・23・2158 ●県人口/1,957,289人/男974,698人/女982,591人●世帯数591,358世帯(1992年2月1日現在)

魅力的な



江戸時代の旅人になってまちづくりを考えた「奥州道中膝栗毛」。那須町「遊行庵」で、地元の人たちと触れあう場面も。



ふるさと創生の一環として製作された黒磯市巻狩太鼓は、「那須野巻狩」の風景を連想させる勇壮な太鼓で、黒磯市の新しい伝統として伝えられています。

まちづくり



復原された足利学校。市民に親しまれ、心のよりどころとなる場として活用されています。





基盤とした魅力的なまちづくりを、住民・市町村・」を認識し、個性豊かな地域づくりに積極的に参加



栃木県知事 渡辺 文雄

私たちの住む栃木県には、それぞれの地域固有の歴史・文化・町なみ・風景・自然などがあります。

現在、各地域の創意と工夫のもとに、それらを活かした個性的で魅力的なまちをつくるため、地域住民の方々をはじめ県・市町村などが一体となって地域づくりに取り組んでいます。

また、県では、21世紀へ向けて自主的・主体的な栃木県のまちづくりが永く続くように、各地の取り組み状況に応じた支援を総合的に行っております。そして、現在のところ、県内各市町村の様々な事業が、地域の活性化にもつながってきているところです。

県民のみなさまには、地域が主体となったまちづくりがさらに発展するよう、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

『ちづくり』は何？

域づくり計画（構想中のものを含む）――

V さまざまな地域との交流を推進

――姉妹都市提携、都市と農村の交流等――

- 大田原市 青少年の交換交流や、海外へ青少年を派遣する国際交流事業を推進（あすなろ基金）
- 栗野町 青年男女の交流、ふれ合いの機会を促進する後継者交流事業を推進（後継者育成基金）
- 黒羽町 町の歴史や文化を通して地域間の交流を推進

VI 国際交流による活性化

――友好提携、姉妹都市提携、ユニークな国際化の推進等――

- 今市市 日光国立公園の玄関としての地域特性を活かし、広く外国文化を理解する国際交流活動を推進（国際交流基金）
- 真岡市 アメリカのグレンドーラシティと姉妹提携したことを契機に、国際的感覚を持った人づくりを推進（国際交流基金）
- 石橋町 ドイツのシュタインブリュッケン（石橋）と交流のあることから、世界に誇るグリムの里づくりを推進
- 馬頭町 アメリカのホースヘッドビレッジ（馬頭）との国際交流等、町民を主体とした国際交流事業を推進

VII 教育・福祉の充実、高齢化社会への対応

――ユニークな健康づくりの推進、生涯教育の推進等――

- 今市市 温泉を利用した、(仮称)今市市温泉保養センター整備事業
- 矢野市 温泉を利用した、温泉とふるさと特産品の開発事業
- 真岡市 21世紀を担う子供たちに夢と希望を持たせる、科学教育センター建設事業
- 足尾町 保健の充実、福祉の拠点、高齢者生活福祉センター建設事業
- 市貝町 温泉を利用した、(仮称)健康保養センター建設事業
- 芳賀町 子供から老人まで、すべての住民がスポーツを楽しめる体育施設の整備
- 大平町 町民のすべてが明るく学べる生涯学習と社会福祉の拠点、ふるさとふれあい館建設事業
- 岩舟町 地域間交流・生涯教育・伝統文化の継承等の拠点、総合文化センター(コスモスホール)建設事業
- 藤原町 町民相互のコミュニケーションの場としての拠点、(仮称)健康文化センター建設事業
- 塩原町 社会福祉事業のために基金の果実により各種事業を推進（社会福祉基金）

VIII その他

- ① 住民参加等
 - 足利市 「ふるさと足利」を再発見・再認識する、みんなで選ぶ「足利百景」事業
 - 国分寺町 老人会等各種団体による花壇・道路沿線等への植栽、花いっぱい事業の推進
 - 西那須野町 みんなで歩いてみんなで点検、まちづくりを提言する「まちづくりウォーク」を実施（まちづくり住民組織の運営）
- ② 景観の保全、活用
 - 足利市 歴史的景観とマッチした都市空間を創出、歴史的まちなみ修景及び都市景観整備補助事業
- ③ 自然等地域の特殊資源の活用
 - 今市市 特別史跡・特別天然記念物日光杉並木街道を市の誇りとして育て後世に伝える、杉並木基金の設置
- ④ 個性的な建造物、複合的な施設
 - 茂木町 元気な福祉の拠点として子供からお年寄りまでいきいきと交流ができる、元気アップ茂木館・伝統工芸館建設事業
 - 黒羽町 文化振興、社会福祉の向上、教養の増進等を促進、芭蕉の里文化複合センター建設事業
 - 南河内町 町民プールや、複合的集会、野外活動等の拠点「ふれあいプラザ」建設事業
 - 都賀町 町の歴史を通しての住民の憩いの場、ふれあいの場、(仮称)ふるさとセンター整備事業
- ⑤ その他
 - 葛生町 粉塵のないきれいな町づくりを推進（スィーパー車購入）、幹線道路粉塵清掃事業

がんばってます！まちづくり

積極的な『まちづくり活動』によって、活気にあふれている地域があります。そのなかのいくつかをご紹介します。

◆足利学校の復原(足利市)

『歴史の町―足利市』の代表的なものに、我が国最古の総合大学として知られる「足利学校」があります。

昭和57年には、足利学校跡の東半分を利用して小学校が移転することになり、それを契機に、史跡の保存整備事業に着手することになりました。

発掘調査や古地図・学校記録などの文

献調査によって基本設計・実施設計などが各分野の専門家の指導を受けてつくられ、昭和63年度に建物の復原工事に着工しました。その後も相次いで庭園復原工事等に着手し、10年の歳月を要した事業も、昨年ようやく完成しました。

現在、足利学校は、教育の原点・生涯学習の出発点として、多くの人々から期待されています。

◆山あげ会館(烏山町)

絢爛豪華な野外劇『山あげ祭』は、今から約400余年の昔の永禄3年、当地方に疫病が流行した際、時の烏山城主那須資胤（那須余一の子孫）が、この災厄を避けるため牛頭天王（須佐之男命）を八雲神社にお祀りし、奉納余興として常磐津所作の山あげを行い、今日まで続いたと言われています。

山あげ会館は、この400年の伝統を誇る野外劇『山あげ祭』を映像やミニチュアの仕掛けなどを利用して、一目瞭然に内容が紹介できるようになっています。

また、ほかにも、町の人々の生活や四季折々の風景などを、映像を通してみなさんに紹介するとともに、さわやかな緑と山あげ祭の町『烏山』からのメッセージをお届けしています。



◀山あげ会館

◆奥州道中膝栗毛(河内町)

河内町の白沢地区は、旧奥州街道第一の宿として栄えたところです。

この地区には、6年前に地元の人たちが中心となって発足した『奥州街道白沢宿の会』（宇加地太美雄会長）があり、「誇れる町づくり事業」を支える組織として白沢宿のまちづくりのために運動を繰り返しています。

この会が昨年11月に、『奥州道中膝栗毛』と銘打って、街道終点の福島県白河

から宇都宮間約80kmの奥州街道を歩き、かつての宿場を訪ねました。

昔ながらの装束に身をまよって、10カ所の宿を経由しながら沿道沿いの市町村と交流を深めたり、将来のまちづくり・地域づくりに奥州街道・宿をどのように活かしていくかを、歩きながら考えました。また、奥州街道の歴史や地理的意義・江戸時代の旅人の苦勞を身体で実際に感じる事ができたようです。

（奥州道中膝栗毛行程）



とちぎ再発見

〈日本一シリーズ〉

■宇都宮清原工業団地(宇都宮市)

宇都宮清原工業団地は、宇都宮市東部の鬼怒川左岸台地にあり、南は国道123号線と、北は県道宇都宮・向田線に接続している工業団地です。

この工業団地は、首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律に基づき、昭和45年から造成が開始され、昭和51年に造成完了した工業団地で、総面積が388haあります。東京ドームと比較すると約83倍もの面積があり、内陸型の工業団地としては我が国最大の規模といえます。

この団地の土地の利用区分は、工場用敷地264ha、道路49ha、公園31ha、緑地30haとなっており、立地操業している企業は、進出第一号の日本たばこ産業㈱をはじめ、高度先端技術を誇る企業等34社を数えています。

団地の造成にあたりましては、特に公園、緑地などの緑の面積を十分に確保し、南公園、中央公園、北公園を設けました。南公園には野球場と遊園地、中央公園には、プロ野球の公式試合もできるナイター設備のある人工芝の野球場や全天候型のテニスコートが8面、体育館はメインアリーナとサブアリーナの2棟で、そのうちメインアリーナはバレーボールの国際試合も開催された施設です。また、北公園には、現在18,000人の観客が収容できる本格的な球技場(サッカー・ラグビー場)を建設しています。

緑地は、1号緑地から3号緑地まであり、緑地内には遊歩道、休憩所等が整備されており、森林浴も楽しめる憩いの場です。

宇都宮清原工業団地は、工業団地の規模においても、また、立地環境が整備されていることにおいても、名実共に栃木県が誇るインダストリアルパーク(緑地などがたくさんある新しい形の工業団地)として、宇都宮テクノポリスの『産』の中心的な役割を担っています。

宇都宮市街地開発組合 ☎0286-22-0465



受け継がれる伝統の技

—とちぎの伝統工芸品—



今回で最終回になりますが、栃木県伝統工芸品のうち、諸工芸品(15品目)について紹介します。

〈栃木鬼瓦〉

栃木瓦は、かた焼きで丈夫な箱森瓦(箱森は地名)として有名です。屋敷を守り、家内安全の魔除けとして伝えられ、多くの種類があります。今では、小山市と栃木市で製造されています。

〈佐野衣裳着簾、佐野節句かけ軸〉

交通の要地である佐野市は、日光東照宮造営の際、匠たちの中にこの地に落ち着いた者も多く、その匠たちの技術が衣裳着簾製作の中に伝えられています。佐野市にはそのほかに正月用かけ軸(ハマヤ)、節句用かけ軸も作られ、図柄、色合い、筆使い、ぼかし等伝統的な技法が使われています。



〈佐野武者絵のぼり、大畑家の武者絵のぼり〉



武者絵のぼりは端午の節句に子の健康と成長を願って立てた戦国武将等を描いたのぼりです。すべて手描きで描かれ、佐野市に伝わる際物師の技、市貝町の大畑家の15代続紺屋の伝統技術など、江戸時代からの技術を受け継いだ美しく、勇壮なぼりです。

〈鹿沼箒〉

天保12年(1842年)に荒井喜右エ門がほうきもちの種を持ち帰り試植したのが始まりといわれ、柄とほうきの接合部分が蛤型をしている「蛤型ほうき」が特徴です。

〈間々田紐〉

草木染した絹糸を丹念に手仕事で組み上げた組ひもです。鎌倉時代から受け継がれた組ひも技術に、小山市の渡辺氏が工夫を凝らして創案したもので、柔らかな美しさが特徴です。

〈下野しほり〉

日本古来の「もみがみ技法」の一つで、和紙を手でもみ上げ、ちぢみ紙としたものです。昔は女性の結髪用等に用いられたが、今はその柔らかな雰囲気を生かして和紙人形等に使われています。

〈烏山手すき和紙〉

建保年間(1210年代)にこの地に越前から紙工を招き、那須奉書をつくり出したのが始まりで、「こうぞ」を原料に手すきにより作られます。程村紙、押し絵紙、染紙などがあります。

県では、栃木県伝統工芸品として50品目を指定していますが、これらは、時代の移り変わりとともに幾多の試練を乗り越えながら受け継がれてきました。

匠たちが心を込めて手づくりした伝統工芸品。その温もりと安らぎは伝統工芸品ならではのものです。みなさんもお使いになってみてはいかがでしょうか。

栃木県商工労働観光部工業課 ☎0286-23-3198



あなたも「ひとりひ」

栃木県では、地域のみなさんの創意と工夫を県が一体となって推進しています。

ここで、改めてあなたのまちの『まちづくり』をしていきましょう。

あなたのまちの『ま

—ふるさと創生1億円事業を契機とした地

I 地域の特徴を活かしたまちづくり

—地域のイメージづくり、日本一づくり、〇〇の里づくり、人材の育成等—

- 宇都宮市 都市中心部における緑の拠点、「御本丸公園」「八幡山公園」の再整備事業
- 足利市 史跡足利学校等歴史的資源を活かした、観光振興拠点施設整備事業
- 栃木市 商業都市の面影を残す「蔵」を基調とした、蔵の街ルネッサンス事業
- 佐野市 市の花「梅」をテーマとした、梅の花ふれあい事業
- 鹿沼市 恵まれた自然を活かした園地整備、西大芦フォレストビレッジ事業
- 小山市 地域を担い、小山市を担う人づくり事業
- 矢板市 緑のネットワーク、長峰公園の再整備事業
- 黒磯市 「黒磯公園」と「那珂川河畔公園」とを一体的に結ぶ、快適な環境づくり事業
- 野木町 「みどり」をメインテーマとした、野木シーポートランド整備事業
- 河内町 自然環境、歴史的遺産を活かした水と緑のふれあいのまち整備事業
- 高根沢町 新・旧住民のふれあいの場、たかねの丘整備事業
- 南那須町 「せせらぎ」と並木が織りなす「いかんべ」の里推進事業
- 烏山町 市街地中心部を流れる清水川周辺地域環境整備事業
- 上三川町 自然とのふれあいの場、水との語らいの場、磯川緑地公園整備事業
- 塩谷町 自然と調和した人間生活の場づくり、エコロジカル・ワイルドビレッジ整備事業
- 那須町 歴史的雰囲気漂う東山道と伊王野の里づくり
- 田沼町 花いっぱい運動(フローラル事業)の推進、ポケットパーク整備事業

II 地域の文化を活かしたまちづくり

—伝統文化の継承と活用、新しいふるさと文化の振興と発展等—

- 日光市 芸術の森を拠点としながら周辺の自然と親しめる、小倉山森林公園総合整備事業
- 益子町 「伝統的工芸品・益子焼」をメインに各種美術品を購入
- 氏家町 長い歴史を持つ豪壮な彫刻屋台を保存展示する、(仮称)屋台会館建設事業
- 小川町 古代の史跡・遺跡と豊かな自然を活かした、歴史の水辺・さんばみち整備事業
- 西方村 囃子・神楽等の郷土芸能を支援する、郷土芸能支援事業
- 藤岡町 文化に接する場としての「文化会館」の建設等、文化の香り高いまちづくり事業

III 地域経済の活性化をめざして

—農林水産業、商工業の振興、地域特産品の開発、観光の振興等—

- 上河内村 村木「ゆず」を活かした、ゆずのむらづくり事業
- 壬生町 子供から大人まで楽しめる、おもちゃ博物館建設事業
- 喜連川町 町なみを整備し商店街の活性化を促進する、商店街環境整備事業
- 足尾町 観光各地区拠点開発事業や、銅山観光の施設を拡充(第三セクターへ出資)
- 塩原町 自然を活かしたレクリエーション施設、新湯キャンプ場整備事業

IV 魅力あるイベントの開催

—文化イベント、観光イベント、ユニークなイベントの実施等—

- 二宮町 町木「桜」にスポットを当て「桜」をメインとした、さくらさくまちづくり事業
- 湯津上村 日本一の木彫りの天狗を活かした天狗王国推進事業
- 黒羽町 奥の細道紀行で松尾芭蕉が町を訪れたことにちなみ、黒羽芭蕉まつりの開催
- 葛生町 約5000年前の化石骨(葛生原人)にスポットを当てた、くず原人まつりの開催
- 栗山村 今に語り継がれている「かっぱの伝説」にちなみ、むらおこしの起爆剤として、かっぱ大祭を開催



情報スクランブル

県庁のあて先
〒320 宇都宮市埴田1-1-20

催し

県立博物館の催し

▶第39回企画展

「きのこ・どんな子

ーキノコの秘密をさぐるー

〔期間〕 4月29日(水)～6月21日(日)

(※5/4、6/15を除く毎週月曜、祝祭日の翌日は休館)

〔時間〕 午前9時30分～午後5時

〔内容〕 人々に親しまれているキノコを中心に、様々なキノコについて紹介します。

〔観覧料〕 一般200円、大学・高校生100円、小・中学生50円

▶移動博物館「関東の南画」展

〔期間〕 4月25日(土)～5月25日(月)

(※5/4を除く毎週月曜、祝祭日の翌日は休館)

〔時間〕 午前9時～午後4時30分

〔会場〕 黒羽町芭蕉の館

〔観覧料〕 無料

▶講座「植物のじっくり観察会

ーバラの仲間ー

〔日時〕 5月2日(土)午前10時～11時30分

〔定員〕 30名

〔参加料〕 無料

〔申込〕 電話で同館へ

▶体験学習「十二単と鎧の着付け教室」

〔日時〕 5月24日(日)午前11時～正午

〔対象〕 小・中学生～一般

〔定員〕 200名(ただし試着は2～3名)

〔参加料〕 無料

〔申込〕 当日、直接会場へ



▶映画会

期 日	内 容
4/12(日)	・またあえるねつバメ君(アニメ) ・那須高原の植物
4/26(日)	・小さなバイキングビッケ(アニメ) ・ニホンザルーその群れと生活ー
5/3(日)	・アラジンと不思議なランプ(アニメ) ・アニメ三銃士(アニメ) ・やさしい動物のおやこ
5/4(月)	・海ひこ・山ひこ(アニメ) ・アリババと40人の盗賊(アニメ) ・はばたけオオタカ・チョウゲンボウ
5/5(火)	・小さなバイキングビッケ(アニメ) ・泣いた赤鬼(アニメ) ・昆虫の世界 ーカリバチの習性と本能ー
5/24(日)	・南極犬タロ(アニメ) ・文福茶釜(アニメ) ・東海道の旅ー江戸時代の陸上交通ー

〔時間〕 午後2時～3時

〔入場料〕 無料

▶問合せ 県立博物館 (☎0286-34-1312)

県立美術館の催し 企画展「ルシアン・フロイド展」

▶期間 4月19日(日)～6月15日(月)

(※5/4、6/15を除く毎週月曜、祝祭日の翌日は休館)

▶時間 午前9時30分～午後5時

▶内容 現代具象絵画を代表するフロイドの人間心理の深層に迫る油彩画70点を紹介します。

▶観覧料 一般600円、大学・高校生400円、中・小学生200円

▶問合せ 県立美術館 (☎0286-21-3566)

県子ども総合科学館の催し

▶春休み特別映画会

〔期日〕 3月25日(水)、27日(金)、28日(土)、29日(日)、31日(火)

〔時間〕 ①午前11時～②午後1時～
③午後2時10分～④午後3時10分～

〔会場〕 多目的ホール

〔定員〕 各回とも230名、当日自由入場

〔内容〕 「山の生い立ちを知るー地震の話」

「お味噌を調べに
宇宙人がやってきた」

「鉄は生きている」の上映

▶劇団公演ーれもん座公演ー

〔期日〕 3月22日(日)

〔時間〕 ①正午～②午後2時～

〔会場〕 多目的ホール

〔定員〕 各界とも230名

〔内容〕 「おきんとおたぬきさま」
「人形ボードビル」

▶マイコン教室

〔日時〕 3月24日(火)午後1時～3時

〔会場〕 学習室1

〔対象〕 小学生高学年以上18名

〔申込み〕 電話にて受付(先着順)

▶問合せ 県子ども総合科学館

☎321-01

宇都宮市西川田町567

☎0286-59-5555(代)



英語点訳講習会

▶視覚障害者が、できるだけ多くの英語の点訳図書を利用できるよう、英語点訳者養成講習会を開催します。

▶講習日 4月30日(水)～7月16日(水)

毎週木曜日

▶時間 午前10時～正午

▶会場 県身体障害者福祉会館研修室

(宇都宮市若草1-10-29)

▶定員 20名

▶受講資格 原則として点訳の基礎講習を終了している方

▶受講料 無料

▶問合せ

県身体障害者福祉会館

(☎0286-21-6208)

募集

女性のための経理事務講習会

▶科目 経理事務(商業簿記3級とワープロの基本操作)

▶期日

〔県央〕 4月9日(水)～6月15日(月)のうち

43日間

(週5日、土・日・祝祭日を除く)

〔県北〕 4月14日(火)～6月2日(火)のうち21日間(週3日火・水・金、祝祭日を除く)

▶時間

〔県央〕

午前の部 9時30分～正午

午後の部 0時30分～3時

〔県北〕

午前9時30分～午後3時

▶会場

〔県央〕 県中央婦人就業援助センター

(宇都宮市若草2-2-39)

〔県北〕 大田原地域職業訓練センター

(大田原市本町1-2805-3)

▶対象者 全期間受講できる方で、講習終了後速やかに就業する意思のある方

▶募集人員 各地区・部ごとに20名

▶受講料 無料(教材費は実費負担)

▶受付

〔県央〕 3/24(火)午前10時～午後3時に県中央婦人就業援助センターへ

〔県北〕 4/7(火)午前10時～午後3時に大田原地域職業訓練センターへ

▶問合せ 県中央婦人就業援助センター
(☎0286-22-1610・1615)



くらしにちょっといいですか?

国民年金



♡保険料が変わります!

国民年金の保険料が、今年の4月から1か月9,700円に改定されます。

この改定は、公的年金として安定した事業運営のために、給付と負担の調整を行い、加入者の急激な負担増とならないように、保険料の見直しが行われるものです。

みなさまのご理解をお願いいたします。

♡前納割引きのご利用を!

国民年金の保険料は、年度当初一括して「前納」することができます。

この場合、毎月納める手間がはぶけるとともに、納める保険料の額も一定の割引きがかかります。もし、平成4年4月中に、平

成5年3月までの1年間の保険料を前納した場合には、次表のとおり定額保険料で約2,800円の割引きとなります。

このように便利でお得な「前納制度」、みなさんもぜひご利用下さい。

詳しくは、市町村役場の国民年金係までお問い合わせ下さい。

	月々納めた場合	前納した場合	割引額
定額保険料	116,400円 (9,700円×12月)	113,590円	2,810円
定額保険料+ 付加保険料	121,200円 (10,100円×12月)	118,270円	2,930円



県政テレビ番組
ウィークリー 栃木

毎週木曜日 A M 8:30～8:45
テレビ東京12チャンネル

県内各地のホットな話題を
私たちがレポートします。
ヨロシクネ～!!

高松しげお 相馬宏美

番組に対するご意見・ご希望・身近な情報等をハガキでお寄せください。

文字放送

■NHK総合テレビの電波に多重し、県からのお知らせ、生活情報を常時放映しています。
・毎日午前6時～午後12時 1チャンネル(550#)

■文字放送を見るには…
文字放送受信機能を組み込んだ文字放送内蔵型テレビが、文字放送専用アダプターが必要です。くわしくは、お近くの電気屋さんでおたずねください。

県政ラジオ番組
栃木放送

●県民の窓……………毎週日曜日～金曜日
午後0時15分～0時30分

●県庁ダイアリー……………毎週月曜日～土曜日
午前8時42分～8時47分

●県政アラカルト……………「知事さんこんにちは」
毎週第3日曜日
午前9時15分～9時45分

あなたの**声**を県政に

●県政についてのお意見・ご要望・苦情をお受けしています。また、日常生活でお困りのことなど、お気軽にご相談ください。
●県が発行する報告書やパンフレットを展示、ご希望の方にはおられます。是非、ご利用ください。

●中央県民センター ☎0286-23-3765
●県南県民センター ☎0282-24-5665
●県北県民センター ☎0287-23-1555
●上野原県民相談室 ☎0289-64-9419
●安蘇県民相談室 ☎0283-24-2603
●塩谷県民相談室 ☎0287-43-2142
●芳賀県民相談室 ☎0285-82-5888
●足利県民相談室 ☎0284-42-9700
●南那須県民相談室 ☎0287-83-1555